

中期経営計画

(2017年度～2021年度)

2017年3月24日
株式会社証券保管振替機構

「3つの目標」

- 日本市場の活性化・競争力向上に貢献するための中期的な「3つの目標」として、
- JASDEC2020プロジェクト*を中心とした取組みによる改善・改革を通じて、
- 「業務・サービスに係る生産性・品質の向上」、「システムの強化」、「経営基盤の強化」を図る。

日本市場の活性化・競争力向上への貢献

目標 . 業務・サービスに係る生産性・品質の向上

JASDEC2020プロジェクトを中心とした
取組みによる改善・改革

目標 . システムの強化

目標 . 経営基盤の強化

* 2020年までに実施する予定の当社の振替システム等のリプレイスにあわせて、業務・システム両面の全体最適化を推進するプロジェクト

「6つの施策」

～ 目標の実現に向けた重点的な取組みとして、「6つの施策」を設定～

目標 . 業務・サービスに係る生産性・品質の向上

施策 全社横断的な業務の効率化・品質向上

- ✓ 全社横断的に業務を統合・再編するなど業務全般の効率化・品質向上を実現する。
- ✓ 高品質なシステムを低価格で迅速に構築・運用することが可能な全社的体制を整備し、定着させる。

施策 資本市場の環境・構造変化への迅速かつ柔軟な対応

- ✓ 資本市場の環境・構造変化を継続的に把握し、迅速かつ柔軟に対応していく。
- ✓ 特に、決済期間の短縮化など、金融・資本市場の整備・活性化等に関する各種取組みの実現に向けて、引き続き貢献していく。

施策 利用コストの引下げに向けた運営コストの引下げ

- ✓ 利用コストの引下げに向けて、業務・システムの全体最適化を通じて運営コストの一層の引下げを図る。

目標 . システムの強化

施策 システム構成の最適化

- ✓ JASDEC2020プロジェクトを通じて、マスタ管理の一元化やシステム基盤の共通化・標準化を進めるほか、各振替業務に係る機能・データの標準化を見据えた対応を行うなど、振替制度単位で個別最適となっているシステムの全体最適化を進める。

施策 リスク対応の一層の高度化

- ✓ 国内外の規制、市場全体の取組み等を踏まえ、安全性・信頼性の高いシステムを構築するなど、サイバーセキュリティや大規模災害への対応を高度化する。

目標 . 経営基盤の強化

施策 人材・財務基盤の強化

- ✓ 継続的に生産性向上を実現する企業風土の醸成に向けて、全社的な「働き方改革」を推進し、人材の強化を図る。
- ✓ 財務基盤の更なる充実を図るため、引き続き資本を増強していく。